



館林城の
再建をめざす会

次号予告

日光脇往還(台宿町/足利町/谷越町) (2019年9月発行予定)

道路拡張が予定されている日光脇往還。

昭和の景観が色濃く残る館林のメインストリートを記録に残したい。

記憶をたどれば、半世紀前(昭和43年)町名変更に、私が育った鷹匠町は大手町になった。

味わいのある町名が消えて残念な気持ちになったことを覚えている。

館林の活性化に役立つのは誇れる歴史だと思う。400年の歴史を受け継ぐ町名を大切にしたい。

私にできることは、由緒ある町名を積極的に使うこと! 町の歴史を広報すること!と考え企画。

城下町の町名を特集したミニタウン誌を発行します。(田中)

編集後記

「館林城下町だより」

～創刊号～Vol.1

塙場町特集

編 集: 館林城の再建をめざす会

発行日: 2019年2月18日

発行者: 田中茂雄

発 行: 昇文館

〒374-0037 館林市小桑原町855-1

※この小冊子は「館林城もなか」の売上協賛金
(1個10円)が制作費として役立てられています。



館林城下町だより

2019 2月 創刊号

特集: 塙場町
(つかばちょう)

塚場町

Tsukabacyo



天正18年(1590) 柳原康政が館林城の建設にとりかかった。

従来の館林城を大幅に拡大し、惣構えの堅固な城郭都市を作った。

城下町の中心である大手門から並木町を経て

太田口へ直線で結ぶ塚場町は、

堅町の通りとともに東西を結ぶ主要な通りである。

南北を貫く日光脇往還を加えた3本の道が

館林城下町の骨格をなしている。

[塚場町の由来]

町名の起源について二つの説がある。

①古墳の存在により塚=古墳の意とし
古墳のあった所ということで塚場町となった。

②一里塚の所在により塚場町とする説。

木挽町・愛宕神社前の通りはその昔、南の青柳方面から富士嶽神社を経て繋がっていた。塚場町の通りで右折し加法師へ至り、千塚を通って野州へ向かう街道だ。
この接点に一里塚があったという。

一里塚は
この辺りに

[江戸時代: 塚場町の戸数]

綱吉時代(延宝2年1674年)

塚場町106戸 台宿町98戸 足利町59戸

幕末(嘉永元年1848年)

塚場町109戸 台宿町90戸 足利町73戸

※館林城下町で塚場町の戸数は最大。

江戸時代を通じてあまり変化がない。
城下町の中心は塚場町であった。



江戸時代

お散歩 マップ

塚場町

Tsukabacyo

現在



左)大手門方面 右)太田口方面

喰違い交差点は
城下町の特徴。
この地点に一里塚が
あったとされる。



塚場町という町

敵から城を守るために構造が今に残る。
例え、通りを横切る道は直交せず喰違(くいちがう)。
400年の歴史が現在に息づいている城下町だ。
現在では空き地が多くなったが、
おかげで土地の起伏がわかるようになった。
質の良い湧水が流れる地形も理解できる。

塚場町通りの町屋も今は僅か

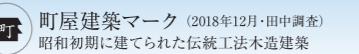
明治になり大火に見舞われた塚場町は道幅を拡張した。
明治・大正と館林の商家は繁昌したので
質の良い町屋が数多く建てられた。
昭和40年代まではかなりの数が残っていたが、現在約20軒。
往年の塚場町を偲ぶには残された町屋から想像する他ない。
今こそ！残された貴重な街並みを体験しませんか。

吉田松陰も歩いた塚場町通り

嘉永5年(1852)4月4日、吉田松陰22歳の時に
館林へ来訪。太田口から入り塚場町を歩き
追手(大手門)まで。(『東北遊日記』)
同窓の館林藩士・三科文次郎を訪れて来た。
三科に会えず、江戸口から松原を経て板倉へ。
利根川を船で下り江戸に向かった。

菓子店が多かった塚場町

塚場町は住人が多く子供が沢山いた。なので、
菓子店が繁昌。「小島菓子店①」「小林菓子店②」
「吾妻屋菓子店③」「布見菓子店④」「丸山菓子店⑤」
「梅月堂菓子店⑥」など多くの菓子店があった。
※梅月堂は優れた職人のいる本格的菓子店だった。



町屋建築マーク (2018年12月・田中調査)
昭和初期に建てられた伝統工法木造建築

[臨済宗円覚寺派] 法泉寺
文明16年(1484)足利義政によって創建されたといふ。戦国時代になると争乱のため寺は荒廃。慶長年間、館林藩主・榎原康政の助力によって再興された。



法泉寺



館林本町うどん



サイトウ写真館



中村菓子店



山口商店



町屋毛塙邸



テーラー根岸



和菓子 さのや



招き猫もなか

和菓子の名店。

西本町13-26

TEL:0276-72-1070

[ブティック] デモルフォセカ

Dimorphotheca



店名は花の名前から。

本町1丁目1-27

TEL:0276-73-3460

美しい町屋建築

←古屋織物/古屋邸

左)栗原商店

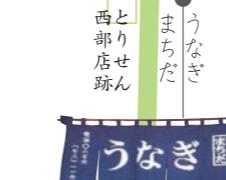
右)近江屋酒店



[カフェ] KOUBA

織物工場(こうば)を
リノベした人気カフェ。
■西本町9-35
Tel:0276-72-6289

一里塚(推定)



木挽町

理容レインボー
すげた住設



うなぎ まちだ

うなぎ店舗
とりせん



うなぎ 魚たけ

うなぎ
魚たけ



龍神酒造

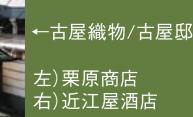


菊竹清訓設計
1963年竣工。
近代モダニズム
建築の名作!



館林旧市庁舎
(中部公民館)

△建物のコントラストが見事!



常光寺



△建物のコントラストが見事!

江戸口門

2018年12月27日撮影:田中茂雄

